

COLUMN

鎌倉の猫事情 第二十六話



BIRD

スイーピーの2度目の出産はもうまもなくです。先に産まれた一粒種の可愛い女の赤ちゃんはすくすくと成長していました。お母さんのおっぱいを独り占めして広々したお腹の周りで誰に何の遠慮もなく、自由気ままに遊んでいます。すみれは その女の子はすみれと名づけられました可愛い盛りです。人間でいえば3歳くらいじゃないでしょうか。スイーピーにとってもすみれを目の中に入れても痛くないほど可愛かったと思いますが、そのころスイーピーはそれどころではなかったかもしれません。はた目にもその時が刻々と近づいているのがわかります。今度こそその大きなお腹から産まれてくる赤ちゃんは、すみれの時のように1匹や2匹というわけにはいかないでしょう。それでもスイーピーは度重なる出産と、子育てに参っている様子はありません。心配なのは奔放に成長しつつける長女すみれの方です。すみれは弟や妹達の事を理解できるのでしょうか。いじめたり、ひがんだりしないのかしらと心配です。(その後あんな心配は全く必要なかったとわかる出来事があったのですが)そして、すみれが生まれた4月12日から2ヶ月と2週間後6月25日だったと記憶しています。その日は日曜で選挙があった日でした。最初の出産のときと同じように、スイーピーの様子が違っていました。いつも飄々としているスイーピーが、私にまつわりついて、ごろごろと喉を鳴らして甘えてきます。甘えられればかりじゃありませんよ、私だってまだ甘えていたいのよ、とでも言っているようです。相手をしてあげると嫌嫌よくごろごろと過ごしていましたが、夜になって押入れのカーテンの陰に入っていました。そして、すぐぼろりと産んだのです。カーテンの奥のダンボールの中からミイミイと可愛い鳴き声が聞こえましたからわかりました。少ししてスイーピーが出てきて、ごろんと床に寝そべり、ふう～とため息をついています。?? いくらなんでも早すぎない? いくら安産型のスイーピーちゃんだって... カーテンを開けて覗いて見ると、箱の中には白いちいさな塊がもじもじ動いています。でも、1匹。え? また1匹? それに、また真っ白な赤ちゃん。あんなに大きなお腹をかかえていたのに本当に1匹だけなんですか。スイーピーを見るときはまだ大きなお腹をしてため息をついています。休憩しているようです。そんな事であるんですね。結局その夜は、選挙速報を真夜中までやっていたのですが、その間中、休憩したり、ご飯べたり、トイレに行ったり、また1匹また1匹と産み、時々先に産まれた赤ちゃんにおっぱい飲ませたり、なんだかんだ忙しそうにしながら、朝までに元気な赤ちゃんを全部で6匹産みました。本当に、すごいです。スイーピーママには参りました。え? その間、ゲーニー君はどうしてたかって? よく覚えてませんが、鼻ちようちんをふくらませて寝ていたと思いますよ。

_____ to be continued

目を瞑ると、音もなく細かな雪が降ってくる。しんしんと空から雪が降ってくる。閉じた瞼の裏側で雪はしだいにこんもりと降り積もっていく。降りやまない雪の中で、自分さえも雪に埋もれて雪だるまになったようだ。あわてて瞼を開けると、目の前には雪国の景色が広がっていた。白く膨らんだ木々、山型に形どられた船、丸くなった大小の雪山に埋もれた港、その向こうに青灰色の海が広がっている。青灰色の海の遙か沖には、横たわる島が寂しく白々と霞んで見える。波打ち際から沖へ向かって冠雪した流氷が点々と浮かんでいる。私は遠い北の果ての町まで辿りついていた。見開いた目に映る北の国の空は晴れあがり、海は勢いよく流れている。体に積もった雪を振り払い、左足で力いっぱい蹴ってぼーんと飛び上がると、海の真中に落ちて、運良く流れていく流氷の一つに飛び乗った。沖の海流は思ったよりずっと早く、目の廻るような勢いで流されていく。流れる流氷に群がる大鷲やオジロ鷲、かもめやカラスがくるくる飛び交い、久しぶりの晴れ間に、雪から解き放たれた鳥達が海上を占領している。流氷の主となった私は大きな背伸びをして彼らが狂うさまをゆうゆうと見上げている。すぐ側を日向ぼっこをするアザラシの親子が流氷に乗って流れて行った。大海原を旅してきた、自由きままな旅の仲間だ。しかし仲間でも油断はできない。飛び廻る鳥達は流氷の陰に隠れて流れ暮らす小さな生き物を狙ってはいるけれど、獲物にありつけない時には、誰もどんな目にあうかしない。楽しい光景はあっという間に、消えてしまい、アザラシの親子も、水面すれすれに降下していた鳥達も遠くなくなっていった。私の乗った流氷はどんどん流されて、彼らとはしだいにちりぢりとなり遠く離れていった。遠い海の上では鳥達がまだ餌を求めて大空を飛び廻っている。流氷におおわれた冷たい北の果ての海に、春はすぐそこまで来ていた。

